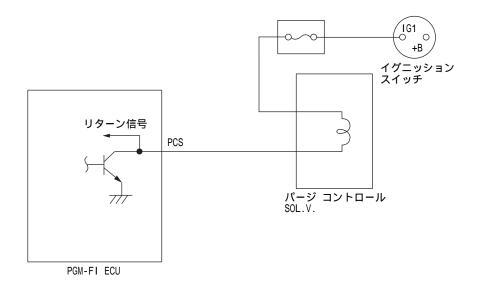
DTC P0443: パージ コントロール SOL. V. 故障

検知原理解説



01_P0443C_TM8A10

パージ コントロール SOL.V. は、キャニスタからインテーク マニホールド間の負圧配管に取付けられている。 PGM-FI ECU はエンジン冷却水温が規定値以下の時、パージ コントロール SOL.V. を閉じ、キャニスタに負圧がかからない 状態としている。PGM-FI ECU はパージ コントロール SOL.V. を制御 (デューティ制御) することにより、エンジンに吸入 される燃料蒸発ガス量を調整している。

デューティ出力に対し、パージ コントロール SOL.V. からのリターン信号が変化しない状態で設定時間以上継続した場合、PGM-FI ECU は故障と判定し、DTC をストアする。

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・OBD ステータス

検知頻度	常時	
(当該 DTC の)検知順序	なし	
検知所要時間	5 秒間以上	
検知手法種別	2D/C(2 連続検知手法)、PGM-FI 警告灯: 点灯	
OBD ステータス	正常判定、故障判定、実行中、条件外	

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

検知実行条件

条件項目	下限	上限
エンジン冷却水温度 [水温センサ]	60	
バッテリ電圧[バッテリ電圧]	10.0V	
パージ コントロール SOL.V. 出力デューティ [パージ コントロール SOL V]	2%	98%
エンジンの状態	作動中	

[]: HDS パラメータ

故障判定基準

パージ コントロール SOL. V. からのリターン信号が変化しない状態で 5 秒間以上継続した場合。

推定故障部位

- ・ PGM-FI ECU とパージ コントロール SOL. V. 間コード (PCS ライン) の断線・ PGM-FI ECU とパージ コントロール SOL. V. 間コード (PCS ライン) の地絡・パージ コントロール SOL. V. コード (電源供給ライン) の断線
- · PGM-FI ECU 内部回路の故障

再現テスト手法

HDS を使用する方法

なし。

実際の代表的テスト走行による方法

エンジンを始動し、ラジエータ ファンが2回作動した後、さらに無負荷3,000rpmで2分間以上暖機運転する。

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC がストアされる。次回の D/C において同一の故障が検知 (2連続検知)されると PGM-FI 警告灯が点灯し、DTC およびフリーズ データがストアされる。

車両が連続した 3D/C の走行で故障診断を行い正常と判定した場合、PGM-FI 警告灯は消灯する。また、スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリ端子の取外しにより PGM-FI 警告灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。